



2022年10月24日

各 位

会 社 名 キッズウェル・バイオ株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 谷 匡 治  
(コード番号：4584 グロース)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 栄 靖 雄  
経 営 管 理 本 部 長  
(TEL. 03-6222-9547)

## 国立大学法人東海国立大学機構との乳歯歯髄幹細胞 (SHED) を用いた 脳性まひ治療に関する特許共同出願のお知らせ

当社は、これまで主に名古屋大学（2020年4月より国立大学法人東海国立大学機構が発足し、同大学の設置者となる。）と共同で進めてきた乳歯歯髄幹細胞（以下、「SHED」といいます。）を用いた脳性まひ治療に関する研究において、この度当該疾患モデル動物に対するSHEDの治療効果を確認し、SHEDを含む治療剤候補（以下、「本発明」という。）の創出に成功しました。つきましては、東海国立大学機構と特許共同出願等契約書を締結し、本発明に関する特許の出願をいたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 発明の概要

当社は、2022年5月12日に公表した「中期経営計画-KWB2.0-」において、早期企業価値向上に向けた重要な成長戦略の一環として、SHEDを活用した小児疾患、希少疾患・難病等に対する再生医療等製品の研究開発活動を鋭意推進しております。本発明は、上述の研究開発活動における脳性まひに関する共同研究成果の一環であり、当該疾患の新たな治療法の創出に向けた重要なステップであります。

脳性まひは、出生およそ500児に1児の頻度で発生する脳機能障害で、胎児から新生児期に脳血流が低下したり、感染症にかかったりすることが原因とされています。現在の治療法は、適用できるケースが限られている上、効果も十分とは言えないことから、新たな治療法の開発が待ち望まれており、細胞治療（再生医療）はその候補の一つと考えられています。中でもSHEDは優れた神経再生能力、血管新生能力、および炎症抑制能力を有し、脳性まひにおける機能障害を抑制したり、機能獲得を促進できる可能性を有しており、これまで主に名古屋大学と共同にて研究を進めてまいりました。

本発明は、具体的には脳性まひに対するSHEDを含む治療剤の創出に係るものです。

当社は、この本発明における治療剤には幅広い事業展開の可能性が秘められていると認識しており、速やかに特許出願することで知的財産権の確保を図りつつ、今後は、本治療剤の安全性と有効性を確認する臨床研究・試験を進め、製薬企業へのライセンスアウトを目指してまいります。

#### 2. 今後の見通し

本件に伴う当社業績、財政状態への影響は軽微の見通しであります。

以 上